

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
助産マネジメント特論	1・2	前期	2	講義 30時間
担当教員	志村千鶴子、柳村直子、河村洋子			
授業概要	周産期医療機関における人材管理や人材育成、システム運用、及び、ハード面の環境、資金の有効活用について、組織マネジメント理論を応用した運用の実践を学ぶ。また、助産業務のリスクマネジメント、医療事故防止等のより安全で快適な出産ケアの提供について、教育・管理の視点を深める。更に、地域連携における母子の健康に関するシステムマネジメントについて、現状の分析と改革の視点から考察し、課題を明確にする力を身につける。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産管理の実際を理解し、質保証システムやその具体的内容・方法について理解を深める。 2. 助産管理の実際を理解し、現状における課題やその解決について、改善・変革を目指す具体的な視点を見出せる。 3. 周産期医療におけるの経営管理について理解を深める。 4. 助産管理におけるリスクマネジメントについて理解する。 5. 災害に関する助産師の役割と対象のおかれた状況および支援について理解する。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	周産期医療施設の助産管理一般について	柳村	
	2	助産業務管理とは	柳村	
	3	助産業務管理と人材開発	柳村	
	4	周産期医療施設の助産管理の実際と課題	柳村	
	5	医療施設における経営管理	河村	
	6	医療施設におけるマーケティング	河村	
	7	周産期医療におけるサービス提供	河村	
	8	周産期医療における財務管理	河村	
	9	周産期医療における管理分析	河村	
	10	周産期医療における管理分析	河村	
	11	医療事故の防止とリスクマネジメント	志村	
	12	被災地の妊産婦支援	志村	
	13	被災地における助産師の役割	志村	
	14	母子に配慮した避難時設営	志村	
15	母子に配慮した避難時設営	志村		
教科書	特に指定しない			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(30%) ・レポート課題に対する成績(70%) 			
事前・事後学習	事前に提示される資料または視聴覚教材による事前準備によって、テーマに関する自己の関心と課題を明確にしたうえで授業に臨む。授業終了後は、テーマごとに課される課題について考えをまとめ、指定日までに必ず提出する。			
備考	特になし			